

「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」TEMDEC (Telemedicine Development Center of Asia)活動報告：第6巻

清水, 周次
九州大学病院

中島, 直樹
九州大学病院

<https://doi.org/10.15017/17972>

出版情報：「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 6, 2010-03. TEMDEC事務局
バージョン：
権利関係：



3. ネットワークの更新・展開

NTT 西日本の提供する、フレッツプレミアムサービスを用いた西日本の医療拠点の接続について

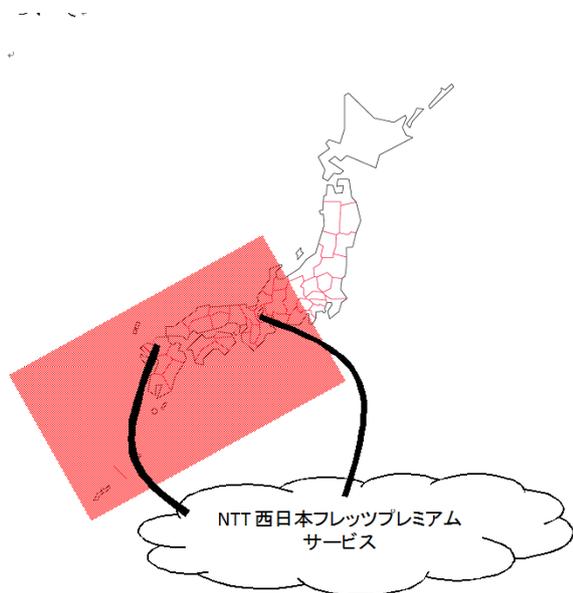


図 1: フレッツプレミアムサービス

NTT 西日本のカバーする西日本（およそ静岡県まで）にある医療拠点は、定番である SINET や JGN が使用できなくても、NTT 西日本の提供するフレッツプレミアムサービス(図 1)を用いれば高速通信が可能です。フレッツプレミアムを導入する正確な費用については、NTT 西日本に問い合わせ頂けたらと思いますが、従来の専用線などに比べると非常に安価な費用で済みます。

フレッツプレミアムサービスは本来、契約者から ISP までの足回りアクセスとして使用されます。しかし、TEMDEC ではフレッツプレミアムサービス内部で可能である IPv6 による契約者間の高速通信機能を使います。そのため、フレッツプレミアムを TEMDEC のためだけに

使用するのであれば、ISP に加入する必要はありません。ところで、医療拠点が TEMDEC の他の医療拠点と通信するためには、相手の医療拠点にもフレッツプレミアム回線が必要となりますが、その必要はありません。現在、九州大学情報基盤研究開発センター・岡村研究室と NTT 西日本の共同研究の一貫によって、現在、九州大学情報基盤研究開発センターにはフレッツプレミアムのエンタープライズ契約 (1Gbps) が提供されています。よって、各拠点でフレッツプレミアムの契約を行えば、この九州大学情報基盤研究開発センターまでは高速に接続できるようになるわけです。

フレッツプレミアムサービス内部で使用できる IPv6 アドレスはグローバルアドレスですが、残念ながら、インターネットには直接接続されていません。しかし、九州大学情報基盤研究開発センターでは、Quatre の一つのインタフェースにフレッツプレミアム回線が接続されているので、各拠点から Quatre を経由して TEMDEC への参加が可能です。

このような方式で、京都第 2 赤十字病院、アクロス福岡、沖縄豊城中央病院から TEMDEC の活動に参加しています。